カメラ

カメラをご使用になる前に ………… 178
カメラで静止画を撮影する ………… 静止画撮影 180
カメラで動画を撮影する ………… 動画撮影 183
サウンドレコーダーで音声を録音する ………… サウンドレコーダー 184
静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する ………… 静止画詳細設定・動画／録音詳細設定 184
撮影時の設定を変える ………… 185
通話中に撮影した静止画を送信する ………… 189
バーコードリーダーを利用する ………… バーコードリーダー 189

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご使用になる前に

- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 静止画撮影中は、FOMA端末の方向に合わせて、保存される静止画の天地や縦長／横長が切り替わります。→P186
- 撮影待機中に約3分間キー操作をしないと、カメラは終了します。
- 静止画撮影では、逆光での撮影時などに自動的にコントラストを補正します。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。セルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。
- ｉアプリからカメラ撮影した画像は、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。

◆ カメラ利用にあたっての留意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 動画撮影およびサウンドレコーダーを利用するとき、音声は送話口から録音されます。指などでふさがないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

◆ 静止画ファイル／動画ファイル

静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※1対応）	jpg

動画ファイル

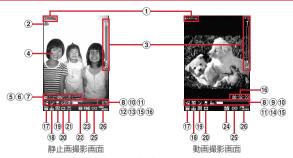
ファイル形式	符号化方式	拡張子
MP4（MobileMP4）	映像：MPEG4、H.264※2　音声：AAC LC	3gp

※1 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」の場合には対応していません。

※2 画像サイズが「VGA（640×480）」のときの符号化方式です。

- 表示名／タイトル／ファイル名には撮影した日時が自動的に付けられますが、保存前や保存後に変更できます。→P180、183、272
- ファイル名に付く拡張子は、FOMA端末では表示されません。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面　　動画撮影画面

※ サウンドレコーダーの録音画面は動画撮影画面と同様ですが、表示されないアイコンがあります。また、カメラからの映像の代わりに専用の画面が表示されます。

No	アイコン名	No	アイコン名
①	撮影時設定操作ガイド→P187	②	上方向判定→P186
③	スライダ（ズーム）→P185 T：最大ズーム　W：標準	④	顔検出枠→P186
⑤	全画面／標準画面切替操作ガイド→P185	⑥	（手動）オートフォーカス→P181 ：待機中　：検出中 OK／NG：成功／失敗
⑦	フルオートフォーカス→P181	⑧	保存先→P184 ：FOMA端末 ：microSDカード
⑨	撮影種別→P184 ：画像＋音声 ：画像のみ　：音声のみ	⑩	ナイトモード→P185
⑪	接写撮影→P185	⑫	セルフタイマー→P186
⑬	顔検出→P186	⑭	共通再生モード→P186
⑮	インジケータ※1	⑯	カウンタ※2
⑰	撮影モード→P187	⑱	明るさ→P187
⑲	ホワイトバランス→P187	⑳	フレーム→P187
㉑	手ぶれ補正→P187	㉒	連続撮影→P182、187
㉓	画質→P188	㉔	品質→P188
㉕	サイズ制限→P188	㉖	画像サイズ→P188

※1 撮影待機中：保存先の保存領域の使用率（microSDカードの使用領域は、静止画や動画を保存していなくても0にならない場合があります。）
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
動画撮影中：サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合

※2 撮影待機中：現在の設定で保存できる最大撮影枚数／最大撮影時間の目安
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影中：現在の撮影枚数と最大撮影枚数
動画撮影中：経過時間／残り撮影時間（目安）

カメラで静止画を撮影する

1 [カメラキー]

撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 **設定を確認してカメラを被写体に向ける**

顔検出が「ON」のときは、顔検出枠が表示されます。
- オートフォーカスを利用して撮影ができます。→P181
- 連続撮影、連続パノラマ撮影を設定できます。→P182
- 撮影時の設定を変更できます。→P185

保存した静止画を確認する：[カメラキー]
静止画詳細設定で設定した保存先の静止画を確認できます。
画像の表示方法→P252、267
- 静止画またはフォルダの一覧画面で[CLR]：撮影待機状態に戻る

3 **[■]または[TV]**

シャッター音が鳴り静止画が撮影され、ランプが赤色で点灯して静止画の保存確認画面が表示されます。連続撮影、パノラマ撮影のときは1枚撮影するごとにシャッター音が鳴り、ランプが赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に繰り返して点灯します。

連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影のとき
設定枚数分、操作3を繰り返します。
設定枚数に達する前に[カメラキー]を押すと撮影が中断されます。連続撮影手動、複数枚撮影した連続パノラマ撮影の場合は操作4に進みます。4コマ撮影手動、一枚だけ撮影した連続パノラマ撮影の場合は撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。

4 **撮影した静止画を確認**

- QVGA（240×320）以下の静止画は拡大して表示されます。実サイズで表示するには[キー]、戻すには[キー]を押します。

連続撮影自動、連続撮影手動のとき
- [iαキー]を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に[左右キー]を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

撮影し直す：[CLR]**または**[キー]

等倍表示に切り替える：[iαキー]
- [方向キー]を押すと画面をスクロールできます。
- [＊]を押すと、ガイド表示領域の表示／非表示を切り替えられます。
- 解除するときは[CLR]、[MENU]、[iα]、[カメラ]、[メール]のいずれかを押します。
- 等倍表示できるのは、SXGA（960×1280）以上のサイズです。

自動スクロールする（連続パノラマ撮影時）：[カメラキー]

メールに添付する：[メールキー]
保存の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズによってはQVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

待受画面に設定する：[MENU][2][1]▶**「はい」**
静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 画像サイズがQVGA（240×320）以下の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する：[MENU][2]▶[2]**または**[3]▶**「はい」**
静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。画像サイズがQCIF（176×144）の場合のみ登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、電話帳の画像に登録できません。

タイトルを変更する：[MENU][3][1]▶**タイトルを入力**▶[カメラキー]
- 31文字以内で入力します（連続撮影した画像は30文字以内）。
- 表示名が変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P272

明るさや色のバランスを補正する：[カメラキー]
編集画面が表示されます。→P254
- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが縦長／横長VGA（480×640、640×480）以上
  - 4コマ撮影でフレームを設定
  - 連続パノラマ撮影時
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」

正像表示／鏡像表示を切り替える（インカメラ撮影時のみ）：[MENU][4][2]

保存先をFOMA端末／microSDカードに切り替える：[MENU][8]
保存されている画像を一覧表示する：[MENU][9]▶[1]または[2]

5 [■]または[TV]

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」（microSDカードの場合は「マイピクチャ」）フォルダに保存されます。

鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：[MENU][5][3]

- フレームを設定している場合は、鏡像で保存できません。

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動撮影時）：[■]（1秒以上）▶「はい」

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。
- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

① [MENU][5][2]▶保存しない静止画を[■]で解除
 - [✉]を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。[■]または[CLR]を押すとサムネイル表示に戻ります。

② [📷]▶「はい」
 選択した静止画が保存されます。
 - インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。

連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：[MENU][5][3]

✔お知らせ

- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが縦長／横長VGA（480×640、640×480）以上の場合に手ぶれ補正オートで撮影すると、[MENU]、[iα]、[✉]を押して行う操作ができるまでに時間がかかります。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中に電話が着信すると着信画面に切り替わります。
- 撮影直後に、着信やアラームなどで画面が切り替わると、画像が破棄されることがあります。

◆ オートフォーカスを利用する

静止画撮影では、フルオートフォーカス機能や手動でのオートフォーカスを利用して、自動的にピントを合わせて撮影できます。

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は40cm以上です。ただし、接写撮影を併用したときは約8～30cmになります。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - FOMA端末を動かしながら撮影する
  - 色の濃淡がない被写体や、動いている被写体を撮影する
  - 暗い場所や、撮影範囲内にライトなどがある場所で撮影する
- インカメラ使用中や撮影モードが「夜景」のときは利用できません。

❖フルオートフォーカスのON／OFFを切り替える

フルオートフォーカスを「ON」にすると、撮影時自動的にオートフォーカスが起動し、ピントを合わせた後にシャッターが切られます。

1 静止画撮影画面で[MENU][8][4]

❖手動でオートフォーカスを起動する

- [AUTO FOCUS]が表示されているときに利用できます。

1 静止画撮影画面で[✓]

ピント調節されると確認音が鳴ります。
以降の操作→P180「カメラで静止画を撮影する」操作3以降

- 顔検出枠がないときはオレンジのフォーカス枠が表示され、ピント調節されると「+」に変わります。

解除する：[✓]

◆ 連続撮影、4コマ撮影を設定する

静止画を連続で撮影できます。

連続撮影自動／連続撮影手動：設定した枚数を連続で撮影し、保存先が本体の場合はパラパラマンガの形式で、保存先がmicroSDカードの場合は1枚ずつの静止画として保存

4コマ撮影自動／4コマ撮影手動：4枚分を連続で撮影し、4コママンガ風に合成された1枚の静止画として保存

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動は、約0.4秒間隔で撮影されます。ただし、撮影間隔は撮影条件により変わることがあります。
- 連続撮影自動、連続撮影手動を撮影できるのはQVGA（240×320）以下のサイズです。連続撮影する枚数は静止画詳細設定で設定できます（最大9枚）。
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動はインカメラでは利用できません。
- 利用できるサイズは次のとおりです。

画像サイズ	4コマ撮影自動	4コマ撮影手動
QVGA（240×320）	○	○
横長VGA（640×480	－	○
縦長VGA（480×640）	－	○
待受用（480×854）	－	○

1 静止画撮影画面でMENU 6 ▶ 1 ～ 4 または 6

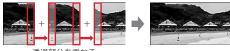
- 画面のマークからも設定できます。→P187

✔お知らせ

- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- パラパラマンガ形式の画像は解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、ファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。→P254
- 撮影中に電話が着信したり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったり、FOMA端末を閉じたりすると、それぞれ次のように動作します。
  - 連続撮影自動、4コマ撮影自動は続行され、通話やアラームの終了後に保存確認画面が表示されます。
  - 連続撮影手動は中断され、保存確認画面が表示されます。
  - 4コマ撮影手動は中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- セルフタイマー設定中は、連続撮影手動、4コマ撮影手動はできません。
- 連続撮影の設定はインカメラ／アウトカメラで個別です。

◆ 連続パノラマ撮影を設定する

カメラの方向を少しずつずらして連続で撮影した2～8枚の静止画を横または縦に合成して、1枚の静止画にできます。

- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- 横に合成するときは右に、縦に合成するときは下に連続して撮影します。

透過部分を重ねる

- グリッドを表示していると、次の撮影時の透過部分を確認できます。
- 画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

画像サイズ	最大画像サイズ		最大撮影枚数
	横に合成	縦に合成	
QVGA（240×320）	1584×320	2112×240	8
横長VGA（640×480）	2176×480	1632×640	4
縦長VGA（480×640）	1632×640	2176×480	
待受用（480×854）	1248×854	2220×480	3

- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
  - インカメラ撮影時
  - 電話帳、iアプリから静止画撮影を起動
  - フレーム使用中
  - iアプリ動作中
  - サイズ制限が「制限なし」以外
  - セルフタイマー設定中
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」

1 静止画撮影画面でMENU 6 ▶ 5 または 6

- 画面のマークからも設定できます。→P187
- ガイド表示領域左下に▭▸▯が表示されているときは横に、▯▸▭が表示されているときは縦に合成されます。

パノラマ撮影する方向を切り替える：

✔お知らせ

- 連続パノラマ撮影中に電話が着信したり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
- 連続パノラマ撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が中断され、保存確認画面が表示されます。

動画撮影

カメラで動画を撮影する

- 動画／録音詳細設定で撮影種別を「音声のみ」に設定するとサウンドレコーダーとして起動します。

1 📷（1秒以上）

撮影／録音待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 設定を確認してカメラを被写体に向ける

- 撮影時の設定を変更できます。→P185

保存した動画を確認する：📷

動画／録音詳細設定で設定した保存先の動画を確認できます。

動画の表示方法→P255、267

- 動画またはフォルダの一覧画面でCLR：撮影／録音待機状態に戻る

3 ■またはTV

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、撮影／録音が始まります。ランプが赤色で点滅します。

一時停止／再開する：撮影／録音中に📷

一時停止するとランプが緑色に点灯し、●が❚❚に切り替わります。

- 一時停止するときと再開するときは、シャッター音が鳴ります。

4 ■またはTV

シャッター音が鳴り、撮影／録音が終了し、動画の保存確認画面が表示されます。

- 制限サイズや制限時間に達すると、撮影／録音が終了します。制限時間は、撮影種別が「画像＋音声」または「画像のみ」の場合は180分（品質が「XQ」で画像サイズが「VGA（640×480）」のときのみ80分）、撮影種別が「音声のみ」の場合は720分です。

5 撮影した動画を確認

再生する：📷

撮影し直す：CLRまたは▼

メールに添付する：✉

保存の確認画面が表示されます。

- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいとメールに添付できません。

待受画面（待受ｉモーション）に設定する：MENU 2 1▶「はい」

動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は待受画面に設定できません。
- 撮影種別が「音声のみ」の場合は待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する：MENU 2▶2または3▶「はい」

動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 撮影種別が「画像のみ」の場合のみ電話帳の画像に登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - 保存先がmicroSDカードの場合
  - 画像サイズが「VGA（640×480）」の場合

タイトルを変更する：MENU 3▶タイトルを入力（31文字以内）▶📷

- 表示名とタイトルが変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P272

保存先をFOMA端末／microSDカードに切り替える：MENU 5

- ファイルサイズが2Mバイト以下の場合のみ保存先を切り替えられます。

保存されている動画を一覧表示する：MENU 6▶1または2

6 ■またはTV

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」（保存先がmicroSDカードの場合、動画は「動画」、音声は「その他の動画」）フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- データによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影や録音ができない場合があります。
- 撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 撮影中や録音中に次のことがあった場合は保存確認画面が表示されます。
  - 電話の着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - FOMA端末を閉じたとき
- 電池が切れそうになると、撮影や録音は中断されます。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中断された場合、保存した動画の最後にアラーム音が録音されることがあります。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

- 動画撮影時に動画／録音詳細設定で撮影種別を「音声のみ」に設定してもサウンドレコーダーが起動します。
- 利用する際の注意事項→P184「カメラで動画を撮影する」のお知らせ

1 m [LifeKit] 5

録音待機状態になり、ランプが青色で点滅します。
以降の操作→P183「カメラで動画を撮影する」操作2以降
静止画撮影に切り替える：i
動画撮影に切り替える：m

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

- 静止画と動画で、設定できる機能は異なります。

1 **静止画撮影画面でm9または動画撮影画面でm7**

- 撮影種別が「音声のみ」のときは録音画面でm1を押します。

2 **各項目を設定▶c**

画像サイズ：静止画撮影の場合、設定画面が表示され、使用できる機能が確認できます（→P188）。インカメラとアウトカメラで設定は個別ですが、動画撮影のインカメラはQCIF（176×144）固定です。
サイズ制限：保存するファイルのサイズ制限値を設定します（→P188）。静止画ではインカメラとアウトカメラで設定は個別です。
画質：静止画撮影でのみ設定できます。→P188
品質：静止画撮影では設定できません。動画、サウンドレコーダーで設定は個別です。→P188
撮影種別：静止画撮影では設定できません。
連続撮影枚数：静止画撮影でのみ設定可能です。連続撮影自動、連続撮影手動で撮影する枚数を設定します。→P182
自動保存：「する」に設定すると、撮影や録音後の確認画面を表示せずにそのまま保存します。
保存先：撮影した画像や録音した音声の保存先を設定します。
シャッター音：撮影する際に鳴る音を選択します。各シャッター音にカーソルを合わせると、音が鳴ります。
- 操作確認音の静止画撮影／動画撮影シャッター音の各設定にも反映されます。

キーカスタマイズ：iに割り当てる機能を設定します。→P185
自動縦横判定：自動で縦撮影と横撮影を切り替えるかを設定します。静止画撮影でのみ利用できます。→P186
照明点灯時間：「端末設定に従う」に設定すると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ

- 静止画詳細設定画面または画像サイズの選択画面、動画／録音詳細設定画面でmを押すと、撮影可能枚数または撮影／録音可能時間の目安が表示されます。
- 静止画撮影でSXGA（960×1280）以上の画像サイズとサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 照明点灯時間を「常時点灯」に設定して、FOMA端末のディスプレイの明るさ調整（→P85）を「自動調整」に設定していると、画面は最も明るくなります。

撮影時の設定を変える

- サウンドレコーダーで設定できるのは「品質」「サイズ制限」のみです。

◆ ズームする

撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。

- 動画撮影時は、撮影中にも倍率を変更できます。
- 各画像サイズで変更できるアウトカメラの表示倍率は次のとおりです。

画像サイズ	最大倍率表示	
	静止画撮影時	動画撮影時
QCIF（176×144）	約16.0倍（32段階）	約16.0倍（8段階）
QVGA（240×320）	約8.0倍（32段階）	約8.0倍（5段階）
横長VGA（640×480）	約4.0倍（32段階）	約4.0倍（3段階）
縦長VGA（480×640）		
待受用（480×854）		―
SXGA（960×1280）	約3.0倍（6段階）	
UXGA（1200×1600）	約2.0倍（6段階）	

- インカメラの表示倍率は、静止画・動画とも画像サイズに関わらず約2.0倍（2段階）です。

1 撮影画面で

押すたびにスライダの目盛が移動し、表示倍率が変わります。

- 動画撮影時は、スライダの上または右に倍率が表示されます。

◆ アウトカメラとインカメラを切り替える

- 連続パノラマ撮影時には切り替えられません。

1 撮影画面で

- インカメラで利用できる画像サイズは次のとおりです。
  静止画撮影中：QCIF（176×144）、横長VGA（640×480）
  動画撮影中：QCIF（176×144）
- 動画撮影中、品質が「XQ（最高品質）」のときはインカメラに切り替えられません。
- 切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
- 動画撮影中、インカメラとアウトカメラの画像サイズが同じ場合は一時停止中に切り替えられます。
- キーカスタマイズ（→P184）を「動画撮影」／「静止画撮影」に設定しているときはを1秒以上押して切り替えます。
- インカメラで撮影した場合、鏡像表示されますが、正像で保存されます。

◆ ナイトモードのON／OFFを切り替える

「ON」にするとカメラの感度を上げて暗い場所でもはっきり撮影できます。

- 撮影モードが「夜景」「スポーツ」の場合は切り替えられません。

1 撮影画面で

「ON」のときはが表示され、ランプが点灯します。

◆ 接写撮影のON／OFFを切り替える

「ON」にすると、約7～10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

- オートフォーカスを併用すると、約8～30cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラ撮影時は接写撮影を利用できません。

1 撮影画面で#

「ON」のときはが表示されます。

◆ 全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が表示されません。

1 静止画撮影画面で*

◆ 静止画撮影と動画撮影を切り替える

- 連続パノラマ撮影時には切り替えられません。

1 撮影画面で（1秒以上）

- キーカスタマイズ（→P184）を「動画撮影」／「静止画撮影」に設定しているときはを押して切り替えます。

◆ セルフタイマーを設定する

設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れるように設定します。
- 設定すると、撮影時にカウントダウンが始まり、カウントダウン音に合わせて、ランプが緑色で点滅します。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
- オートフォーカスを併用すると、オートフォーカスが起動してからカウントダウンが始まります。手動でのオートフォーカス利用時は、フルオートフォーカスの設定に関わらず、ピント調節された後にそのままカウントダウンが始まります。
- カウントダウンを中止するときは📷を押します。

1 静止画撮影画面でMENU 5 ▶ 1 〜 5

シャッターが切れるまでの秒数に応じて⏲〜⏲が表示されます。

✔お知らせ
- 次のことがあるとカウントダウンが中断されます。
  - 電話の着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - MULTIを押したとき
  - FOMA端末を閉じたとき
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影ではセルフタイマーを使用できません。

◆ 画像の天地を切り替える〈自動縦横判定〉

撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります。
- 静止画詳細設定の自動縦横判定が「ON」のときのみ切り替えられます。
- 次の場合は切り替わりません。
  - 連続パノラマ撮影時
  - 4コマ撮影手動で2枚目以降を撮影中
  - モーションセンサー設定が「OFF」のとき

1 静止画撮影画面でFOMA端末の方向を変える

⌂で上方向を示します。
- 上方向として判定できるのは、ディスプレイの上下左右4方向です。

◆ 顔検出機能のON／OFFを切り替える

「ON」にすると自動的に人物の顔が検出され、顔の明るさが補正されます。
- 顔検出枠は最大10個表示されます。最も検出率の高い枠は緑色で、それ以外は白色で表示されます。
- 顔が検出されない場合、白いフォーカス枠が画面中央に表示されます。
- 撮影モードが「オート」「人物」「風景」のときのみ設定できます。

1 静止画撮影画面でMENU 7 3

✔お知らせ
- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

◆ グリッドの表示／非表示を切り替える

グリッドは撮影時の目安になる格子状の直線です。撮影された画面には表示されません。
- フレームを設定しているときは表示できません。

1 静止画撮影画面で▼

◆ 共通再生モードのON／OFFを切り替える

「ON」にするとFOMA端末の機種に関わらず再生可能な動画を撮影できます。
- サイズ制限が「メール添付用（小）」、品質が「HQ（高品質）」以下、画像サイズが「QCIF（176×144）」に制限されます。

1 動画撮影画面でMENU 6

「ON」のときは▶が表示されます。

◆ 画面のマークを使って設定する

画面下のマークを使って、撮影画面を表示したまま設定を変更できます。

〈例〉フレームを設定する

1 撮影画面で[マーク]または[4]

2 [■]

設定を変更せずに撮影画面に戻る：[CLR]

❖撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

[アイコン]: オート　[アイコン]: 人物※1　[アイコン]: 風景　[アイコン]: 夜景※1　[アイコン]: 逆光　[アイコン]: スポーツ　[アイコン]: 文字※1　[アイコン]: モノトーン　[アイコン]: セピア　[アイコン]: モノクロスケッチ※1、2、3　[アイコン]: カラースケッチ※1、2、3

※1　動画撮影時は設定できません。
※2　ｉアプリから起動した場合には設定できません。
※3　効果は撮影後に確認できます。

✔お知らせ

- 撮影画面で[MENU][1]を押すと表示される撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。
- 静止画撮影で連続撮影自動、4コマ撮影自動のときは「夜景」に設定できません。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定できるのは、待受用（480×854）以下のサイズのみです。
- 静止画撮影で連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影のときは「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定できません。
- 「オート」以外に設定している場合、ホワイトバランスの設定を変更できません。また、明るさの設定は、「オート」に切り替えるまで保持されます。

❖明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを－2～＋2の5段階で調整します。

❖ホワイトバランスを調整する

- 撮影モードが「オート」の場合、自然光や照明光のある場所で撮影するときに場に適した色合いに調整できます。

[アイコン]: オート　[アイコン]: 太陽光　[アイコン]: くもり　[アイコン]: 蛍光灯　[アイコン]: 電球

❖フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

[アイコン]: フレーム　[アイコン]: フレーム解除

- フレームを使用できるのは次のサイズです。
  静止画撮影時：待受用（480×854）以下
  動画撮影時：QCIF（176×144）

解除する：[4]（1秒以上）
フレーム一覧を表示する：[MENU][3][1]
回転する：[MENU][3][3]
更新する：[MENU][3][4]

❖手ぶれを補正する

[アイコン]: 手ぶれを自動補正　[アイコン]: 設定を解除

✔お知らせ

- 次の場合、設定は「OFF」になります。
  - インカメラ撮影時
  - 連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影時
  - ｉアプリから静止画撮影を起動した場合、ｉアプリ動作中の場合
- 被写体や撮影状況により手ぶれ補正の効果が得られないことがあります。

❖連続撮影、連続パノラマ撮影を設定する

- 連続撮影、連続パノラマ撮影→P182

[アイコン]: 連続撮影自動　[アイコン]: 連続撮影手動　[アイコン]: 4コマ撮影自動　[アイコン]: 4コマ撮影手動　[アイコン]: 連続パノラマ撮影　[アイコン]: OFF（1枚撮影）

❖静止画の画質／動画の品質を設定する

静止画撮影のとき

FINE：ファイン　ST：スタンダード　ECO：エコノミー

動画撮影のとき

XQ：XQ（最高品質）　HQ：HQ（高品質）　STD：STD（標準）
LP：LP（長時間）

- 撮影種別が「音声のみ」のときは、「HQ（高品質）」「STD（標準）」のみ設定できます。

❖ファイルサイズを制限する

- ファイルをｉモードメールに添付して送信する場合は「制限なし」以外に設定してください。

静止画撮影のとき

ファイルサイズが制限値より大きくなると、ファイルサイズを小さくして保存します。

- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。
メール添付用（大）：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。
メール添付用（小）：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

動画撮影のとき

ファイルサイズが制限値に達すると、撮影が終了します。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。ただし、一度に撮影できる時間には制限があります。→P183
メール添付用（大）：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
メール添付用（小）：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

❖画像のサイズを設定する

静止画撮影のとき

176×144：QCIF　**240×320**：QVGA　**640×480**：横長VGA
480×640：縦長VGA　**480×854**：待受用
960×1280：縦長SXGA※1　**1200×1600**：UXGA※1、2

動画撮影のとき

176×144：QCIF　**320×240**：QVGA　**640×480**：VGA※2

※1　撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。
※2　ｉアプリ動作中の場合は選択できません。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で画面の下にアイコンが表示されます。アイコンは、カーソルを合わせた画像サイズで使用できる機能を示します。使用できない機能はグレーで表示されます。

◆ ちらつき調整をする

ちらつきを調整すると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

1 **撮影画面で**MENU 2 3 ▶ 1～3

自動：ちらつきを消すよう自動的に調整
50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整
60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整

- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて設定してください。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。また、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

✔お知らせ

- 蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆ 撮影時の設定を初期値に戻す

- 撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定が初期値に戻ります。

1 撮影画面で[MENU][2][4]▶「はい」

通話中に撮影した静止画を送信する

- 静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定しても、画像はFOMA端末に保存されます。
- 静止画詳細設定で保存先が「microSD」かつ自動保存が「する」の場合は送信できません。

1 通話中に[MENU][9]▶静止画を撮影

撮影のしかた→P180「カメラで静止画を撮影する」

- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画詳細設定で自動保存が「する」の場合はメール添付の確認画面が表示されます。
- [CLR]または[⌒]を押すと撮影が終了し、通話中の画面に戻ります。

2 [✉]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 画像サイズによっては、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文貼り付け確認画面が表示されます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは[CLR]または[⌒]を押します。

3 ｉモードメールを編集▶[📷]

ｉモードメールを送信して、撮影待機中の画面に戻ります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードの情報を読み取り、利用できます。情報は最大5件保存できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- NW7コード、CODE39コードは横幅が長いため、全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面から起動して、読み取った情報を入力できます。→P312

■ JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

■ NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

JANコードの一例

読み取れる情報
「4942857315721」

QRコードの一例

読み取れる情報
「株式会社NTTドコモ」

NW7コードの一例

読み取れる情報
「A123456789012A」

CODE39コードの一例

読み取れる情報
「*123456ABC*」

◆ コードを読み取る

1 [MENU]［LifeKit］[1]

バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わり、ズームがONになります。アウトカメラをコードから約7〜10cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  [▲]：ズームON　[▼]：ズームOFF
  [#]：接写撮影OFF／接写撮影ON（🌷）の切り替え
  [●]、[✓]：オートフォーカスの切り替え
- オートフォーカスのアイコンは状態によって次のように変化します。
  AF(黒)：ピント調節中　AF(緑)／AF(赤)：ピント調節成功／失敗
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- コード読み取り待機中に[MENU][2]→[1]〜[3]を押すとちらつき調整ができます。
  ちらつき調整について→P188

2 アウトカメラをコードに合わせる

自動的にコードが読み取られます。読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが、全角5500（半角11000）文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

- 読み取りを中止する：[CLR]▶「はい」

静止画撮影または動画撮影に切り替える：[MENU][3]▶[1]または[2]

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

3 読み取りデータを利用する

データを保存する：[MENU][4]

- 最大5件保存できます。既にデータを5件保存しているときや保存領域の空きが足りないときは、保存済データ削除確認画面が表示されます。

コードを読み取り直す：[📷]

文字情報をコピーする：[MENU][1]▶**コピーする範囲を選択**

コピー／貼り付け情報→P312

情報を電話帳に登録する：情報にカーソル▶[MENU][3]▶[1]**または**[2]▶[1]**または**[2]

- 更新登録するときは登録する相手を選択します。

情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」▶[1]**または**[2]

情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

ｉモードメールを作成する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択

サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」
- [iα]を押すとフルブラウザで接続します。

URLをブックマークに登録する：
① URLにカーソル▶[MENU][3][3]
  - 「ブックマーク登録」を選択しても登録できます。

② 登録先フォルダを選択
以降の操作→P157「ブックマークに登録する」操作2

ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」

電話をかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶[MENU]
条件を設定して電話をかける→P55

SMSを作成する：電話番号を選択▶発信方法欄を選択▶[3]▶[MENU]▶「はい」

静止画ファイルを保存する：静止画ファイルを選択▶「保存」
以降の操作→P160「画像をダウンロードする」操作2以降
- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

メロディデータを保存する：メロディデータを選択
以降の操作→P160「データをダウンロードする」操作2
- FOMA端末に保存する場合、保存先はメロディの「データ交換」フォルダになります。

トルカを保存する：トルカを選択
以降の操作→P160「データをダウンロードする」操作2

✔お知らせ
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節やオートフォーカスの利用により、読み取れることがあります。
- 次の場合は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中
  - キー確認音が「OFF」のとき（オリジナルマナーモードの設定を含む）
  - 音量設定のキー／開閉操作音量が「Silent」のとき
- ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。

◆保存した読み取りデータを利用する

1 [MENU]［LifeKit］[1]▶[📷]

2 読み取りデータを選択

読み取りデータの利用→P190「コードを読み取る」操作3

読み取りデータを削除する：読み取りデータにカーソル▶[MENU][3]▶[1]または[2]▶「はい」
- 全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- データのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子は「jan」（JANコード）、「qr」（QRコード）、「nw7」（NW7コード）、「c39」（CODE39コード）です。既に同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。